

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩谷学園ひがし北海道IT専門学校
設置者名	学校法人 岩谷学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	地域未来情報テクノロジー科	夜・通信	180 h	160 h	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://ihit.ac.jp/disclosure>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－① 【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	岩谷学園ひがし北海道 I T 専門学校
設置者名	学校法人 岩谷学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園本部に備付

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	セント・ジョセフ会 理事長	R7 年 5 月 22 日～ R11 年度最初の定 時評議員会	人を育てる観点か らの学校及び教育 への助言
非常勤	元小学校校長	R7 年 5 月 22 日～ R11 年度最初の定 時評議員会	教育の質の向上へ の助言 学校運営の監理
非常勤	神奈川歯科大学特 別顧問	R7 年 5 月 22 日～ R11 年度最初の定 時評議員会	海外を繋ぐ海外戦 略の開拓及び助言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩谷学園ひがし北海道 I T 専門学校
設置者名	学校法人 岩谷学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(授業計画)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
・前期・後期の授業終了後に授業アンケートを実施。その結果を職員及び講師にフィードバック（授業評価）を行い、次年度の授業計画に反映する。 ・前述の授業評価を反映しているかを職員会議等で確認する。 ・授業計画は該当科目の最初の授業時に学生に配布し、科目概要シートを基に授業の方法、内容、到達目標、成績評価の方法・基準等を説明し、授業に備えるようにする。 ・3月末までに翌年度分の授業計画書を作成し、4月末日までに事務局に備え付ける。	
授業計画書の公表方法	学校事務局に備付け
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
・学修成果の評価の方法及び基準については、授業計画書に示された評価基準を基に、記載するとともに、冊子にして学生全員に配布周知する。 ・上記方法・基準により、筆記試験の成績、課題・実習の成果及び履修状況を含む定期試験および科目によっては小テスト等の達成度の結果を評価したうえ、学校長のもと厳正かつ適正に履修認定を実施する。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・科目概要シートに示された評価基準を基に、科目ごとに100点満点法にて点数が付けられ、100～90点：秀、89～80点：優、79～70点：良、69～60点：可、59点以下：不可の評価を付ける。 ・成績評価を行うためには、科目ごとに学科が定める出席率を満たしている必要がある。期末試験の他、小テストや課題提出など、学修に向けた日常的な取り組みも評価の対象としており、その割合は科目概要シートに明記している。 ・学生個人の相対的な位置（成績の分布状況）を把握する際は、成績評価の秀→4、優→3、良→2、可→1と評価を数値化し、その平均を取るようにする。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	学校事務局に備付け予定
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・卒業判定基準は、以下の条件を全て満たしていること。 ①成績付与による学修時間数が学則の定める卒業に必要な時間数を満たしている。 ②学費未納がない。 ・2月（必要に応じ3月にも）に開催する卒業判定会議により、一人ひとりが自らの属する学科の卒業要件を満たしているかを判定する。 ・卒業判定結果の根拠データは、データベースで一元管理し、このデータベースを基に成績表及び成績証明書を発行し、各学生及び就職先等に学生本人が公開できるようにしている。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学校事務局に備付け

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩谷学園ひがし北海道IT専門学校
設置者名	学校法人 岩谷学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園本部に備付
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		専門課程	地域未来情報テクノロジー科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 単位時間／単位	780 単位時間 ／単位	1,020 単位時間 ／単位	960 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2,760 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		33 人	26 人	4 人	13 人	17 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・前期・後期の授業終了後に授業アンケートを実施。その結果を職員及び講師にフィードバック（授業評価）を行い、次年度の授業計画に反映する。 ・前述の授業評価が授業計画に反映されているかを職員会議等で確認する。 ・授業計画は該当科目の最初の授業時に学生に配布し、科目概要シートを基に授業の方法、内容、到達目標、成績評価の方法・基準等を説明し、授業に備えるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） ・授業計画に示された評価基準を基に、科目ごとに100点満点法にて点数が付けられ、100～90点：秀、89～80点：優、79～70点：良、69～60点：可、59点以下：不可の評価を付ける。 ・成績評価を行うためには、科目ごとに出席率（80％以上）を満たしている必要があり、これを下回る場合には学校が定める期間内に相当の補習を完了する必要がある。

卒業・進級の認定基準
(概要) 【卒業認定基準】 ※以下の条件を全て満たしていること。 ①履修する全ての科目に合格し、学修時間数が学則の定める「卒業に必要な時間数」を満たしている。 ②学費未納がない。 ・卒業に関しては卒業判定会議において、一人ひとりが自らの属する学科の卒業要件を満たしているかを判定する。 【進級基準】 進級判定会議の時点で出席率が原則 80%以上あり、不足単位があるとしても学校が定める補習期間内に補習完了もしくは再試合格の見込みがあると進級判定会議で判断される場合に進級を認めることとする。
学修支援等
(概要) 授業を欠席した学生、時間内に課題が完成しなかった学生に対し、授業の空き時間や授業後に個別指導を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等) 2024 年度開校のため、卒業実績なし			
(就職指導内容) 1. 自己理解・職業理解 2. 就職先の情報収集 3. 応募書類の作成 4. 面接対策 5. ビジネスマナー指導 6. 資格取得のすすめ 7. 実践的な準備 他			
(主な学修成果（資格・検定等）) 合格者試験：（国家資格）家畜人工授精師 1 名・（国家試験）IT パスポート 2 名・ （民家資格）ビジネス能力検定ジョブパス 3 級 1 名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 今後実施していく取り組み ・担任制により各担任が学生を細やかに指導・支援するとともに、全教職員が情報共有して学生をサポート		

・定期面談、必要に応じた都度面談、特別な配慮が必要と思われる場合には、主任等によるカウンセリングを実施 ・無断欠席の場合には、電話等で事情を確認 ・3日以上欠席した場合には家庭訪問を行い、状況の確認と改善に向けたサポートを行う ・登下校時の教職員による声掛けや授業観察を実施し、学生の様子を常に把握するよう努める

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
地域未来 情報テ クノロ ジー 科	150,000 円	6000,000 円	120,000 円	施設設備費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://iwatani.ac.jp/evaluation/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校の教育目標、計画に沿った取り組みの達成状況、学校運営等への取り組みが適切に行われたかについて自己評価を行い、結果を公表する。当校の卒業生、保護者または地域住民、専門分野における業界関係者、高校等の校長または進路指導担当者、学校運営に係る専門家または地域の地方公共団体等の関係者などで組織された学校関係者評価委員会（定数：4名）を実施し、自己評価結果の客観性、妥当性、透明性を高めるとともに、学校・学科への理解促進や連携協力による今後の運営や教育の改善等を図ることを基本方針とする。校長は学校関係者評価委員会委員の助言・提言をもとに協議し、次年度の学校運営等に反映し活用する。 （主な評価項目）		
1. 教育理念・目標	5. 学生支援	9. 法令等の遵守
2. 学校運営	6. 教育環境	10. 社会貢献・地域貢献
3. 教育活動	7. 学生の受け入れ募集	11. 国際交流
4. 学修成果	8. 財務	

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2025 年度後期までに委員の選任を行い、学校関係者評価委員会を実施。 2025 年度末までに結果を公表		
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 完成年度を迎えていないため学校関係者評価は未実施		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ihit.ac.jp/admission/ にて募集要項の確認が可能 HP からの資料請求が可能
--